

第59回東京都理容競技大会

競技要項

- 【日時】 平成29年5月8日（月）午前11時 開会予定
- 【会場】 文京シビックホール
- 【主催】 東京都理容生活衛生同業組合
- 【実行】 東京都理容生活衛生同業組合 中央ブロック協議会
- 【後援】 東京都（予定）
公益財団法人東京都生活衛生営業指導センター

【大会要項】

1. 日 時 平成29年5月8日(月) 11時00分 競技スタート 予定

2. 会 場 文京シビックホール 大ホール

文京区春日1-16-21 文京シビックセンター2F

電話03-5803-1100

主な交通機関 東京メトロ 丸ノ内線・南北線「後樂園駅」直結

都営地下鉄三田線・大江戸線「春日駅」(文京シビックセンター前)直結

JR中央・総武線「水道橋駅」徒歩10分

3. 競技種目

全国大会種目

1 部 クラシカルカット・ファッションカテゴリー

クラシカルなカット技術とファッション性を感じさせるデザインで構成されたヘアスタイル。

2 部 レディースカット・パーマスタイル

女性らしい美しさを表現したカット技術とパーマを活かしたデザイン性のあるヘアスタイル。

3 部 全理連ニューヘア「NEW HAIR gain-G」

洗練されたスーツスタイルで、上質さを感じさせる大人のパーマスタイル。クラシカルなカットとパーマの構成で清潔感、オシャレ感、こなれ感を合わせ持ったヘアスタイル。

◎理容師2017メッセージ

・・・・・・・・・・・・・・・・・・以下オープン競技・・・・・・・・・・・・・・・・

東京大会種目

4 部 The Barber Battle 2017' in TOKYO 「デザイン アート ヘッズ」

デザインアートゾーンに、鋏・バリカン・レザーを使用して、自由な発想で、ラインアート・絵柄等によるオリジナルデザインを表現したスタイル。

5 部 クラシカルカット・ドライヤーセット

クラシカル・スタイルに梳かされ、シルエットは全体にスクエアラウンドであり、後頭下部に十分な刈り上げ(ボカシ)があり、耳周りおよびネックラインがはっきりついているスタイル。

6 部 グラデーションカット・フリースタイル

グラデーションカット・スタイルで、グラデーションカットの美しさをブローで仕上げたスタイル。

7 部 ブロースカット

スクエアラウンドのシルエットをもち、襟元にボカシがあり、スタンダードなブローススタイル。

4. 競技時間

1 部 クラシカルカット・ファッションカテゴリー 40分

2 部 レディースカット・パーマスタイル 35分

3 部 全理連ニューヘア「NEW HAIR gain-G」 45分

◎理容師2017メッセージ 5分

・・・・・・・・・・・・・・・・・・以下オープン競技・・・・・・・・・・・・・・・・

4 部 The Barber Battle 2017' in TOKYO

「デザイン アート ヘッズ」(人間モデル) 40分

5 部 クラシカルカット・ドライヤーセット(マネキン) 45分

6 部 グラデーションカット・フリースタイル (マネキン) 45分

7 部 ブロースカット (マネキン) 45分

5. モデル

(1)各部門とも下記に規定されたものとし、選手同伴とする。

1部 クラシカルカット・ファッションカテゴリー

- ①モデルは男性。
- ②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2 cm以上カットできるモデルであること。
- ③ヘアカラーを施していること。
- ④カット以外の事前処理は自由。

2部 レディースカット・パーマスタイル

- ①モデルは女性。
- ②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2 cm以上カットできるモデルであること。
- ③パーマを施していること。
- ④ヘアカラーを施していること。
- ⑤カット以外の事前処理は自由。

3部 全理連ニューヘア「NEW HAIR gain-G」

- ①モデルは男性。
- ②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2 cm以上カットできるモデルであること。
- ③ボトムエリアのガイド(後頭突起下部)の長さは「gain-G」コームの1/4より2 cm以上長いこと。
- ④「NEW HAIR gain-G」が提案するパーマ、ヘアカラーを施していること。

4部 The Barber Battle 2017' in TOKYO 「デザイン アート ヘッズ」

- ①モデルは男女どちらでも可。
- ②頭髪部全体の4分の1以上にデザインアートを入れる部分があること。
- ③デザインアートを入れる部位は10ミリ以下に事前カットしてあること。
(ネックライン、もみ上げ以外は均一な長さにする)
- ④カット以外の事前処理は自由。

5部 クラシカルカット・ドライヤーセット

- ①モデルはマネキン(メンズウィッグ)であり、トップ(頭頂部)が8 cm以上あること。
- ②カットは総体的に2 cm以上行うこと。
- ③アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ④事前のテーパーカットは不可とし、毛が梳かれてない状態であること。
- ⑤ヘアカラーは自由。(但し、単一色であること)

6部 グラデーションカット・フリースタイル

- ①モデルはマネキンであること。(レディースウィッグ)
- ②ネックラインが10 cm以上ある水平なラインのワンレングスに、事前カットされていること。
- ③カットは総体的に2 cm以上行うこと。
- ④事前のテーパーカットは不可とし、毛が梳かれてない状態であること。
- ⑤アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ⑥ヘアカラーは自由。

7部 ブロースカット

- ①モデルはマネキンであること。(メンズウィッグ)
- ②事前のテーパーカットは不可とし、毛が梳かれてない状態であること。
- ③カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ④マネキンは、出場者が毛髪の長さを総体的に5cm以上にカットしておくこと。
- ⑤アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ⑥ヘアカラーは自由。(但し、単一色であること)

(2)競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けるものとする。

(3)1・2・3部は頭部全体のいずれか的一部分(約2cm)の毛髪2cmのカットをモデル審査委員により受けるものとする。

(4)1・2・3部は洗髪後の乾燥した状態及び毛髪を十分に濡らした状態でモデル審査を受けるものとする。

(5)1・2・3部は毛髪を水スプレーで濡らすので、シャンプークロスを着用してモデル審査を受けるものとする。(モデル控室入室後は、人間モデルと選手は接触できないものとする。)

(6)メイクチェックは選手が競技時間内に行うものとする。

(7)5・6・7部は競技規定にあったマネキンであるか事前審査を受けるものとする。

(8)5・6・7部はマネキンを洗髪後の乾燥した状態及び毛髪を十分に濡らした状態で事前審査を受けるものとする。

(8)マネキン競技出場については以下の制限を定める。

5部/6部:理容師免許取得4年以下の者(平成25年4月以降に免許を取得した者)

7部:理容師免許取得5年以下の者(平成24年4月以降に免許を取得した者)

6. 結果発表

各部門上位3名を入賞、他に敢闘賞若干名を表彰する。

7. 派遣

1部、2部、3部、各上位5名及び、理容メッセージ優勝者は、関東甲信越理容競技大会「茨城県大会」に派遣する(計16名)。その他詳細及び全国大会は組合派遣規定によるものとする。尚、補充選手は全ての費用を自己負担とする。

【 競 技 要 項 】

1. 競技種目及び審査に関する事項

1部 クラシカルカット・ファッションカテゴリー

クラシカルなカット技術とファッション性を感じさせるデザインで構成されたヘアスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ②ファッション性を感じさせる新しい自由なデザインであること。
- ③ローゾーンにおけるクラシカルなカット技術(色彩のある刈り上げ)とハイゾーンにおけるカット構成で表現されていること。
- ④耳まわりやネックラインはシャープで、男性的であること。
- ⑤仕上がりにおいては、柔らかさのある毛流れや躍動感が表現されていること。
- ⑥ヘアデザインに合ったヘアカラーであること。

- (2) 競技時間 カット、スタイリング40分。但し、25分以内にスタイリングに入ってはならない。
- (3) 用 具 自由（但し、クリッパーは除く）
- (4) 整 髪 料 自由（但し、カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものは除く）
- (5) 禁止事項
 - ①競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
 - ②ヘアアクセサリ、つけ毛をモデルに装着すること。
 - ③フロンガス入りスプレーを使用すること。（フロンガス以外は可）

2. 審査の基準

- ①ファッション性を感じさせる新しい自由なデザインであるかをみる。
- ②ローゾーンにおけるクラシカルなカット技術(色彩のある刈り上げ)とハイゾーンにおけるカット構成で表現されているかをみる。
- ③耳まわりやネックラインはシャープで、男性的であるかをみる。
- ④仕上がりにおいては、柔らかさのある毛流れや躍動感が表現されているかをみる。
- ⑤ヘアデザインに合ったヘアカラーであるかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードによりモデルを通じて伝達する。

2部 レディースカット・パーマスタイル

女性らしい美しさを表現したカット技術とパーマを活かしたデザイン性のあるヘアスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①カットは総体的に2cm以上行うこと。
 - ②女性らしい美しさを表現したカットがされていること。
 - ③ファッション性のあるカールまたはウェーブが表現されていること。
 - ④カットとパーマを活かしたデザイン性のあるヘアスタイルであること。
 - ⑤総体的に落ち着いた色のあるヘアカラーであり、部分的に華やかなヘアカラーが施されていること。
 - ⑥仕上がりはパーマを効果的に取り入れたスタイリングであること。
- (2) 競技時間 カット、スタイリング35分。但し、20分以内にスタイリングに入ってはならない。
 - (3) 用 具 自由（但し、クリッパー、セットアイロン、ホットカーラー類は除く）※トリマーは可。
 - (4) 整 髪 料 自由（但し、カラースプレー・カラーパウダー及びそれに類似するものは除く）
 - (5) 禁止事項
 - ①競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
 - ②ヘアアクセサリ、つけ毛をモデルに装着すること。
 - ③フロンガス入りスプレーを使用すること。（フロンガス以外は可）

2. 審査の基準

- ①女性らしい美しさを表現したカットがされているかをみる。
- ②ファッション性のあるカールまたはウェーブ表現があるかをみる。
- ③カットとパーマを活かしたデザイン性のあるヘアスタイルであるかをみる。
- ④総体的に落ち着いた色のあるヘアカラーであり、部分的に華やかなヘアカラーが施されているか

をみる。

⑤仕上がりはパーマを効果的に取り入れたスタイリングであるかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードによりモデルを通じて伝達する。

3部 全理連ニューヘア「NEW HAIR gain-G」

洗練されたスーツスタイルで、上質さを感じさせる大人のパーマスタイル。クラシカルなカットとパーマの構成で清潔感、オシャレ感、こなれ感を合わせ持ったヘアスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①カットは総体的に2cm以上行うこと。

②「NEW HAIR gain-G」が提案するカットが行われていること。

③「NEW HAIR gain-G」が提案するプロセスを用いてボトムエリアは「グラデーション」、トップエリアは「左右長さの違うグラデーション」、ディープポイントカットを加味した質感が表現されていること。

④ボトムエリアのガイド（後頭突起下部）の長さはgain-G コームの1/4であること。

⑤「NEW HAIR gain-G」が提案するワインディングが施されていること。

⑥「NEW HAIR gain-G」が提案するコールドパーマの技術を施し、トップエリアはウェーブが表現されていること。

⑦スタイリングは「アクティブ」。全体的にリバーズ表現でフロントはオフザフェイス、トップエリアはウェーブを強調し、全体的にツヤのあるウェットな質感であること。

⑧「アクティブ」のアウトラインは、アシンメトリーなラウンドスクエアであること。

(2) 競技時間 カット、ワインディング、スタイリング45分。

カット20分、ワインディング15分、スタイリング10分(ロッドアウト含む)

(3) 用具 自由

(但し、gain-G コームを使用すること。セットアイロン、ホットカーラー類は使用不可)

(4) 整髪料 自由(但し、カラスプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものは除く)

(5) 禁止事項

①競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。

②ヘアアクセサリ、つけ毛をモデルに装着すること。

③フロンガス入りスプレーを使用すること。(フロンガス以外は可)

2. 審査の基準

①「NEW HAIR gain-G」が提案するカットが行われているかをみる。

②「NEW HAIR gain-G」が提案するプロセスを用いてボトムエリアは「グラデーション」、トップエリアは「左右長さの違うグラデーション」、ディープポイントカットを加味した質感が表現されているかをみる。

③ボトムエリアのガイド（後頭突起下部）の長さはgain-G コームの1/4であるかをみる。

④「NEW HAIR gain-G」が提案するワインディングが施されているかをみる。

⑤「NEW HAIR gain-G」が提案するコールドパーマの技術を施し、トップエリアはウェーブが表現

されているかを見る。

⑥スタイリングは「アクティブ」。全体的にリバーズ表現でフロントはオフザフェイス、トップエリアはウェーブを強調し、全体的にツヤのあるウェットな質感であるかを見る。

⑦「アクティブ」のアウトラインは、アシンメトリーなラウンドスクエアであるかを見る。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかを見る。モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードによりモデルを通じて伝達する。

4部 The Barber Battle 2017' in TOKYO 「デザイン アート ヘッズ」(人間モデル)

デザインアートゾーンに、鋏・バリカン・レザーを使用して、自由な発想で、ラインアート・絵柄等によるオリジナルデザインを表現したスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①デザインアートゾーンの場所は自由。

②デザインアートゾーンは頭髮部全体の4分の1以上を10ミリ以下に事前カットしてあること。
(ネックライン、もみ上げ以外は均一な長さにする)

③ヘアデザイン、ファッションを含むトータルな作品であること。

④デザインアート以外の部位はカット・カラー・パーマ等を事前に済ませておくこと。

⑤競技時間中はデザインアートと仕上げセットの時間とする。

⑥事前にデザインアートゾーンへの下書きは可であるが、仕上がり時には除去しておくこと。

⑦選手は競技時間内に必要に応じて蒸しタオルを使用する事が出来る。

⑧作品テーマを事前に決めておき、審査中はテーマを書いた用紙をモデルに持たせること。
(用紙は組合が事前に用意し発送する)

(2) モデル 男女とも可

(3) 競技時間 デザインアート、スタイリング(カラーチョーク等も含む) 40分
(蒸しタオルによる保湿時間と長髪部分のセッティング時間も含む。)

(4) 用具 自由

①レザーを使用する場合はガード刃を推奨する。

(新品の刃は皮膚を傷つけやすいので充分注意すること)

②蒸しタオル(1人2枚)及びスチーマーは主催者が用意するがそれ以上必要な場合は各自準備し、事前申告をすること。

③蒸しタオルを運ぶ際の容器及び乾燥タオルを用意しておくこと。

(5) 整髪料 自由

(6) 禁止事項

①事前にデザインアートゾーンにトリマー、レザー等による目印の処理を行う事。

②フロンガス入りスプレーを使用すること。(フロンガス以外は可)

③競技終了後にモデルに触れること。

2. 審査の基準

①デザインアートはオリジナリティーがあり、美しく仕上げられているかを見る。

②デザインアートとそれ以外の部分との調和を見る。

③ヘアとファッションの融合がなされているかみる。

④事前に決めたテーマに当てはまっているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードによりモデルを通じて伝達する。

5部 クラシカルカット・ドライヤーセット

クラシカル・スタイルに梳かされ、シルエットは全体にスクエアラウンドであり、後頭下部に十分な刈り上げ（ボカシ）があり、耳周りおよびネックラインがはっきりついているスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①モデルはマネキン（メンズウィッグ）であり、毛髪の長さはトップ（頭頂部）が8 cm以上あること。

②カットは総体的に2 cm以上行うこと。

③アイロン・パーマ等の形跡のない直毛であること。

④事前のテーパークットは不可とし、毛髪が梳かれていない状態であること。

⑤ヘアカラーは自由。（但し、単一色であること）

(2) 競技時間 45分。但し、25分以内にセットに入ってはならない。

(3) 用具 自由（但し、アイロンは除く）

(4) 整髪料 自由

(5) 禁止事項

①アイロン及びコームドライヤーの使用。

②ヘアカラー以外の薬液処理。

③マネキンに目印等を付けること。

④理容師免許取得4年以下（平成25年4月以降に免許を取得した者）でない場合。

2. 審査の基準

①シルエットはスクエアラウンドで、クラシカルスタイルにとかされているかをみる。

②後頭下部に十分な刈り上げ（ボカシ）があり、はっきりとしたネックラインがあるかをみる。

（ツープロックは不可）

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

6部 グラデーションカット・フリースタイル

グラデーションカット・スタイルで、グラデーションカットの美しさをブローで仕上げたスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①モデルはマネキン（レディスウィッグ）

②ネックラインが10 cm以上ある水平なラインのワンレングスに、事前カットされていること。

③カットは総体的に2 cm以上行うこと。

④事前のテーパークットは不可とし、毛髪が梳かれてない状態であること。

⑤アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。

⑥ヘアカラーは自由。

- (2) 競技時間 カット・セット45分。但し、25分以内にセットに入ってはならない。
- (3) 用具 自由（但し、セット用具はコーム、ブラシ、ハンドドライヤーのみとする）
- (4) 整髪料 自由
- (5) 禁止事項
 - ①アイロン及びコームドライヤーの使用。
 - ②ヘアカラー以外の薬液処理。
 - ③マネキン（ウィッグ）に目印等を付けること。
 - ④理容師免許取得4年以下（平成25年4月以降に免許を取得した者）でない場合。

2. 審査の基準

- ①綺麗なグラデーションカットのスタイルであるかをみる。
- ②グラデーションカットの美しさをブローで仕上げているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

7部 ブロースカット

スクエアラウンドのシルエットをもち、襟元にボカシがあり、スタンダードなブローズスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①モデルはマネキン（メンズウィッグ）
- ②事前のテーパーカットは不可とし、毛が梳かれてない状態であること。
- ③カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ④マネキンは、出場者が毛髪の長さを総体的に5cm以上にカットしておくこと。
- ⑤アイロン・パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ⑥ヘアカラーは自由。（但し、単一色であること）

(2) 競技時間 カット・セット45分。

(3) 用具 自由（但し、セット用具は、コーム、ブラシ、ハンドドライヤーのみとする）

(4) 整髪料 自由

(5) 禁止事項

- ①競技準備中に整髪料を使用すること。
- ②マネキンに目印等を付けること。
- ③理容師免許取得5年以下（平成24年4月以降に免許を取得した者）でない場合。

2. 審査の基準

- ①スクエアラウンドのシルエットを持つスタンダードなブローズであるかをみる。
- ②正面、左右の均等、カットの技術をみる。
- ③ブローズ特有のシルエットの美しさをみる。
- ④ネープ、ネックラインの処理をみる。
- ⑤襟元のボカシの美しさをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

2. 刈布・タオルの取り扱い

1・2・3・4部は、刈布、タオルを競技開始の合図後につけること。

(但し、タオルについてはモデル審査時に着用した状態のまま競技場に入場しても可とする)

3. 失格事項 (各部門共通)

次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。

- (1) 所定の技術及び髪型に適合しない場合。
- (2) 競技時間を超過した場合。
- (3) 所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。
- (4) 競技終了後、修正を行った場合。
- (5) モデル審査を受けていないモデルを使った場合。
- (6) モデルに傷を与えた場合。
- (7) 各部門競技の禁止事項を守らない場合 (但し、適正な処置を施した場合を除く)
- (8) 刈布、タオルをつけていない場合 (マネキン競技は除く)

4. タイム及び競技完了の表示 (各部門共通)

- (1) タイムは10分毎に知らせ、最後の10分間は(10分前、5分前、3分前、2分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前、5、4、3、2、1、タイム)と知らせる。
- (2) 1・2・3・4部において競技完了の表示は、モデルから刈布、タオルを完全にとりはずし、一歩後方に退いた後、手を挙げて行うこと。
- (3) 5・6・7部において競技完了の表示は、一歩後方に退いた後、手を挙げて行うこと。

【選手の留意事項】

1. 選手は大会の主旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。
2. 選手は大会要項及び競技事項に定められた事項を遵守すること。
3. 選手は競技事項にもとづく用具のほか、刈布、タオルを持参すること。
4. モデルは競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けなければならないので、選手はこの点モデルとよく打ち合わせをしておくこと。なお、モデルはモデル審査を受ける際に毛髪を水スプレーで濡らすので、選手はモデルにタオルとシャンプークロスを持参させること。
5. モデル審査の結果に不服のある選手は、出場を取り消す場合がある。
6. 選手、モデルは控室入室後に連絡を取り合うことはできない。行った場合は出場を取り消す場合がある。
7. 選手の椅子番号は大会当日、競技種目ごとに発表する。
8. 選手は清潔なヘアスタイル、清潔なユニフォーム(色は自由、但し店名・個人名が入っていないこと)を着用し、清潔な器具、礼儀正しい態度を守らなければならない。
競技出場前の所定の時間にモデルを同伴またはマネキンを持参し、選手受付を済ませること。
9. 選手のモデル及び選手の器具等の事故は、選手の責任とする。
10. 必ず結果発表(表彰式)に参加すること。(尚、携帯電話などは音が出ないようにしておくこと。)
11. 選手は競技中に手首から指先に一切の付属品を付けないこと。但し、取り外すことが困難な場合は競技会場に

において技術監視委員又は技術審査委員に申告すること。

11. 器具は床の上に置かないこと。
12. 競技中に器具をモデルに持たせたり、選手に手渡しする補助行為はしないこと。但し、第3部門のワインディングに関してはその限りでない。
13. 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。
14. ドライヤーは1000w以下とすること。
15. 選手が使用出来る電源口(コンセント)は一つとする。
16. 選手受付及びモデル審査に遅刻した場合は減点する。
17. 持参器具等の管理に留意すること。盗難等の場合、主催者側では責任を負いませんので各自が責任を持つこと。
18. 1・2・3部の事前審査は頭部を水スプレーにて充分濡らして行う。
19. 1・2・3部は全国大会競技要項に準ずる
20. 審査の結果に対し一切の異議を申し立てないこと。
21. 理容業の消毒衛生に基づき、選手は競技中に用具を落とした場合、挙手をし、監視委員の指示に従うこと。
22. マネキン競技出場については以下の制限を定める。

5・6部：理容師免許取得4年以下の者（平成25年4月以降に免許を取得した者）

7部：理容師免許取得5年以下の者（平成24年4月以降に免許を取得した者）

各部門、フロンガス入りスプレーの使用を禁止する。

カラスプレー、カラーパウダー及び、それに類似するものの使用は禁止する。

※会場仕様

- 競技はパイプ椅子（1・2・3・4部）及び長テーブル（5・6・7部）を使用
- 電源タップ（1000W以内）使用可能

※後日、出場資格違反が判明した場合は、入賞者の栄誉を剥奪され、その際選手の異議は受け付けません。

この場合次点選手が繰上げ入賞となり、E・t・o・c・oタイムス紙上に公表いたします。

問い合わせ先

東京都理容生活衛生同業組合

☎161-0033

東京都新宿区下落合 4-26-7 ☎ 3954-8291 FAX3954-8331

Eメール：kyoiku@tokyo-riyo.or.jp